

# 高指山～鉄砲木の頭

2012年2月19日  
リーダー：藤井一義



## 遊友 2月山行鉄砲木の頭 - 報告

今日は天気予報も快晴とあった、6時せんげん台、春日部6時15分集合で、ルートは、桶川北本ICから入り圏央道～八王子～中央高速～山中湖ICへと行く、山中湖は氷が薄らとほり寒そうだった。今日はこれを高指山と鉄砲木の頭（明神山）の頂上から富士山と一緒に眺める登山である。平野バス停休憩所でトイレを済ませ、登山口の車道分岐で下車し運転手の上島さんに2時までにパノラマ台駐車場で落ち合う事にした。参加者17名になったが、9：50 天気もよく準備体操して高指山を目指した。別荘地を回り込みルートは徐々に登るが昨日までの雪が残り地面は少し凍っていた。カヤトの間をぬって頂上へでる途中から下を見下ろすと山中湖の湖面が光って見え、富士山も雄大に白く輝いていた。頂上で富士をバックに記念写真を取り、11：00 次の目的地鉄砲木の頭を目指した、いったん切通峠まで40分少々下山になるが、久しぶりの雪道で天気もよかつたので話をしながら自然路のハイキングコースを歩いていった、切通峠に着き平野への下山路を見送り三国峠・明神山へ 55分の標識に従って登りに入る、アイゼンを持たせてきて大正解

徐々に雪山の気分で、切通しの道は開かれて安全とは思うもののしだいにガスが発生しボタン状の雪が降ってきた、山の天気はわからないものである一面雪の天気になったが歩くうち頭上は薄く太陽の光を感じるので頂上で晴れる事を期待しながらひたすら目指した。12：20 明神山頂上に着くが写真のような雄大な富士はガスで見えない、山中湖神社奥社に御参りし記念写真を撮って早々に下山、しかしおなかも空いたし用意してきた甘酒どうしようか考



▲山中湖神社前にて

えながら下り始めると、次第に富士の裾野と山中湖の湖面がパーと見えてきて、これならカヤトの間で風除けして昼にしようと甘酒とコーヒー沸かして昼となった、途中甘酒ハプニング事件もあったが無事終了、視界がよく見えてきてパノラマ台駐車場に下山 13：45 バスに携帯連絡した。日帰り温泉は虹富士の湯に変更し恒例の湯上りビールを飲んで帰りのバスへ 15：40 乗車、車内で甘酒飲み損ねた方へと伊藤家からのお気遣いワインご馳走様、今度はこぼさぬように安定団で設置も注意しますのでまた甘酒会やりましょう・・・。皆様久しぶりの雪山気分味わっていかがでしたか。（藤井一義）



▲高指山 山頂 (10:25)

## 2月山行「高指山・鉄砲木の頭」に参加して 戸邊茂雄

今年の冬は、例年より寒い日が続いている天気予報は晴れですが気温は例年以下ということでネックウォーマー、毛糸の帽子なども用意しました。勿論、雪対策として軽アイゼンも持参です。今回の参加者は17名、せんげん台からは6名が乗車して6時に出発しました。車は圏央道、中央高速を走り山中湖村下原で下車、いつものように準備体操をして9時半過ぎに高指山登山口より歩き始めました。既に富士山は目の前に大きく見えておりました。近くで見ると意外と積雪が少なく感じられました。少し登っただけで体が熱くなり、ジャンパーを脱いで下着とシャツだけになりました。富士山を背にして登って行くとやがて高指山の頂上に着きました。皆で記念写真を撮り、今度は鉄砲木の頭を目指して歩き出しました。これまで晴れていた天候がこのあたりから変わってきました。雪がばらつき出しました。その雪が徐々に増えていって切通峠辺りに来ると完全な雪になっていました。もう富士山が見えません。多くの方がここでアイゼンを装着しました。雪の中の尾根歩きを堪能しながらしばらく進むと鉄砲木の頭の頂上に着きました。本来ここで山中湖と美しい富士山が拝めるはずでしたが、雪が降っていて富士山も裾野しかみえません。ここでお昼の予定でしたが、山中湖諏訪神社にお参りだけして下山となりました。下山を始めると徐々に天気が回復してきましたので、途中、ススキが群生している所で昼食タイムをとりました。そしてバスが待つパノラマ台駐車場に2時頃到着しました。その後は温泉で

す。当初石割の湯を予定しておりましたが、紅富士の湯に変更になりました。体が冷え切っておりましたので温泉は極楽でした。内湯で体を温めてから露天風呂にも入りました。風呂上りにビール、八重子さんの旦那さんから差し入れの大吟醸酒もいただき、すっかり生き返りました。そして、バスの中でまた日本酒、バスを降りて反省会でまたビールをジョッキ2杯、いつものお決まりパターンで今回の山行も楽しく終わりました。藤井リーダーはじめ皆様ありがとうございました。

▼残雪の中鉄砲の木の頭へ向かう (11:13)



▲山中湖を眺めながら下山 (13:29)



▲鉄砲の木の頭へ向かう途中吹雪に会う (12:12)